

# 「がんばろう、なとり」 No.13

東日本大震災 名取市支援活動報告

2011.4.28

## 「連日のボランティア協力 作業スピードあがる」

本日も肉体労働中心の作業が続く一日。連日、ボランティアの方の協力を得ながら作業をしていますが、今日は栃木県鹿沼市に工場がある「京浜精密工業(株)」の社員 19 人が駆けつけてくれました。社員の中に名取市の閑上(ゆりあげ)地区出身の方がおり、地元の力になりたいとの思いが、今回の支援活動につながったそうです。



マイクロバスで駆け付けた社員の皆さん



作業内容に耳を傾ける社員の皆さん



「災害支援」ステッカーを貼ったトラックも



休憩時間中に快く撮影にも応じてくださいました  
爽やかな笑顔が印象的でした

「石狩市の出身です」その声に振り向く私たち。京浜精密工業(株)入社11年目、牧野 創(はじめ)さんは親船東出身の34才。作業開始前に私たちに声をかけてくださり、場の雰囲気が一気に和やかになりました。

ここ名取市で、地元石狩の方にお会いできるなんて、ましてや一緒に作業ができるなんて思いもしませんでした。それぞれの立場で支援活動に携われたことに喜びを感じました。

ちなみに、牧野さんのお父さんは、石狩で町内会長としてご活躍中とのこと。息子さんは、一生懸命作業に励んでいました！

京浜精密工業(株)皆さんのチームワークは抜群でした。分担した作業は、現場を指揮したこちらの予想をはるかに上回るスピード。おかげさまで、予定していた以上に作業が進みました。あらためて、感謝申し上げます。社員の皆さん、どうもありがとうございました！



北広島市職員と一緒に作業する若手選抜10名の社員の皆さん  
そのスピードには驚くばかり



本館から貸出用の本を奥にある  
離れの倉庫へ運びました



瓦礫の撤去、清掃作業も実施

## 「貸出用の本がズラリ 離れの倉庫が生まれ変わる」

この数日間、ボランティアの方の協力をいただきながら、離れの倉庫を片づけて、貸出用の本を新たに並べることができ、いよいよこの離れの倉庫に「本の命」が吹き込まれてきました。

少々ほこりのあった書架も床もきれいに掃除して、利用者の皆さんをお迎えできる環境が整っています。もう少しで、みんなが笑顔になれる。5月10日(火)が待ち遠しいです。



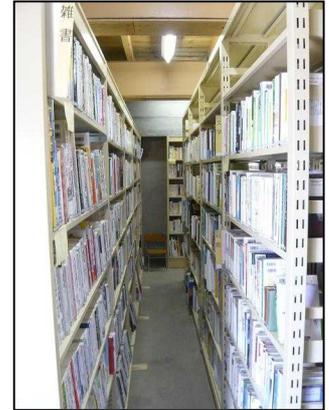
離れの倉庫の書架のようす  
昨日は掃除をして終了



本日の作業後



貸出用の本がズラリと並びます  
書架も本も嬉しそう



40冊ほどの本が入ったケースを  
1階から3階まで運びました



閉上中学校と同じように3階の  
踊り場を利用して開設している  
図書室

## 「閉上小学校に名取市図書館の本が届く」

～ 石狩市の「ブックンボックス」ケース運搬終了 ～

4月26日(火)にお渡しした閉上中学校に続き、この日閉上小学校にも名取市図書館の本を入れたケース10学級分をお渡ししてきました。閉上小の教頭先生と司書の方は、ともに喜びの表情を浮かべていました。

今後は、ケースごとに一定期間で各学級を循環し、長期休みの間に新たな本と入れ替えをして活用されます。石狩市で行なっている貸出方法が、名取市でもいよいよ始まります。



### 編集後記

閉上保育所の佐竹所長に震災当日の様子を伺う機会がありました。保育所は全壊するも、職員の迅速な避難誘導により園児全員が無事でした。この背景には、避難訓練の際に周辺の避難所をひとつずつ確認し、その経路に至るまで詳細に調べていた準備がありました。

日頃から、実際に足を運んで状況を想定しながら自分の目で確かめる。この姿勢ですね。「預かった命は、保護者の方にそのままお返しする」その言葉をずっと忘れません。(S)